

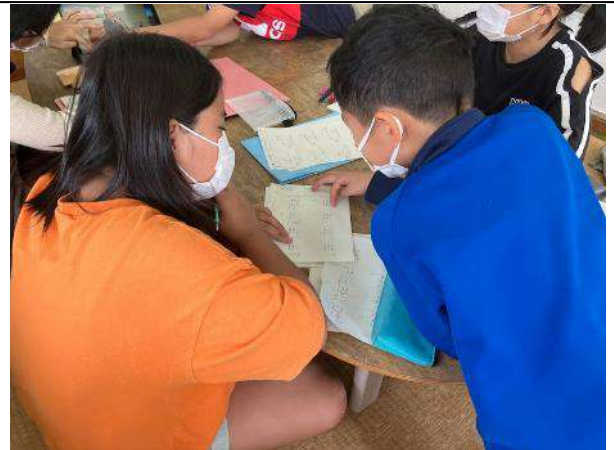
～ 日本財団 2022 年度事業完了報告書暫定版 ～
 てだこレジリエントプロジェクト 2022 別添資料

事業内容 1 新しい生活価値を生み出せる ESD 式学習支援



～SDGs ラーニング～

SDGs の視点で身の周りの課題に目を向けながら、誰もが住みやすい持続可能な地域づくりを考える場となっています。



～ピアラーニング学習支援&宿題サポート～

互いに教え合うピアラーニング式の学習方法を取り入れることで、子どもたち同士の自己肯定感の向上に繋がっています。



～遊(あ)すびプログラム～

遊すび(自然と共に生きてきた親先祖の知恵が込められたあそび)を通して、協調性やコミュニケーション力等、「子ども力」を養います。



～遊(あ)すびプログラム～

手作りでSDGs すごろくを制作し、子どもたちの「意見力」や「段取り力」、「創造力」を育む機会となりました。



～しまくとぅば・沖縄文化継承活動プログラム～
 うちな(沖縄)の言葉・歴史・文化・風習を学ぶことで、各々の家族や地域との繋がりを感じる場を演出しています。



～英語プログラム～

歌やダンス、アクティビティを通して、生きた英語を楽しみながら学びます。言語の多様性を創出しています。



～子ども菜園プログラム～

子ども農園で育てている野菜や植物、周辺の生きものたちとの触れ合いで、「命へ寄り添う心」を育んでいます。



～子ども菜園プログラム～

種まきから収穫までの食農体験を通して、子どもたち自身で作り出す「想像力」と「創造力」を育みます。



～創作ダンスプログラム～

体と心で表現する創作ダンス。今年度は、影絵ダンスに挑戦し、みんなで紙芝居シアターでの影絵の提案を行いました。



～楽器プログラム～

三線や太鼓といった楽器の取り組みのみならず、子どもたち自身で楽器を創り出すことにも挑戦し、創り出す力の向上に繋がっています。

事業内容2 子どもの最善の利益を追求する児童館



～地域子ども農園連携 SDGs フードドライブ～

種まきから収穫まで、子どもたちと一緒にまんぷり～(深い愛)の心で育てた野菜を、地域の方々やお世話になっている皆さんへ提供しています。



～地域子ども農園連携 SDGs フードドライブ～

SDGs の観点から食品ロス削減を目指し、賞味と消費の違いを学ぶ機会にも繋がっています。



～危険から身を守る犯罪機会論ワークショップ～
誰もが安全に過ごせる地域を目指し、地域ならではの「音」にも注目して、入りやすく見えにくい場所を歩いて回りました。



～福祉ヘルパー養成講座 福祉と介護の学校～
「ふくし」の心で、日々の暮らしの中で周りの人たちとお互いに認め合い、頼り合うことの大切さを考える場となりました。



～しまくとぅば読み聞かせ倶楽部講座～
沖縄の島々に残る民話を通して、しまくとぅばの「音(うた)」やオノマトピア(擬態語・擬人語)、先人たちのジブン(知恵)を学んでいます。



～歯磨きワークショップ～
歯科衛生士の方からも事前にご助言をいただきながら、クイズや読み聞かせを通して、歯磨きの大切さとコツを学びました。

事業内容3 食農教育推進！人も野菜も有機的に繋がる食べられる児童館物語



～SDGs 子どもおやつパーラー～
更生保護女性会の皆さまにもご協力いただき、子ども農園で収穫した野菜、食品ロス削減のフードドライブを活用したメニュー開発をしました。



～子どもの農園直送ベジカフェの運営～
愛情たっぷりの子ども農園の農薬不使用野菜を取り入れた、ていーあんだ(手作り)メニューをお届けしました。